

第15回夏休み子ども大会



平成25年8月18日・永賢寺；五位組18ヶ寺・門徒総代会

2013年
(平成25年)
9月1日

五位組だより

念仏のこころに生きる生活を

浄土真宗本願寺派
高岡教区 五位組

題字・織田隆夫

五位組 念仏奉仕団に参加して

門徒推進員 杉森修和

このたび、去る六月二十七日から六月二十八日まで一泊二日で高岡教区五位組念仏奉仕団が計画され、参加いたしました。参加者は、織田組長以下二十四名でありました。

早朝七時に高岡を出発、途中休憩をとりながら十二時過ぎ本願寺に着きました。そして、安穩殿二階に於いて

開会式がおこなわれました。全国各地から老若男女、十二団体四八〇名の参加者でありました。続いて、オリエンテーションがあり、一日目の清掃奉仕に入りました。阿弥陀堂、御影堂の雑巾拭き作業を約一時間おこないました。作業終了後、団体ごとに新門様と記念写真を撮り、旅館に着いたのは午後五時でした。

二日目は朝五時起床、旅館から本願寺へ行き、お晨朝に参拝しました。午前九時より安穩殿二階で、二日目のオリエンテーションがあり、私たちは、書院、飛雲閣、池の周囲の草むしりやゴミ拾いの作業が与えられ、約一時間おこないました。その後、全員で対面所にてのお抹茶接待を受け、

午前十一時より全員安穩殿二階に集合し、閉会式がおこなわれました。そこでは、関係者からの感謝のお言葉、長年奉仕活動に従事された方々の感謝状贈呈式があり、十二時にすべて終わりました。その後、龍谷ミュージアムの見学、大谷本廟の参拝、午後七時に高岡に帰りました。

このような形で本計画をなされた関係者の方々に深く感謝を申し上げ、また、み教えに生きる一人として、お念仏の道を歩む尊さと喜びを、この念仏奉仕団の参加を通して感じました。次回も参加したいと思います。



平成25年6月28日
国宝 飛雲閣 庭園の清掃

蓮門会 研修旅行

廣濟寺 福田慶隆

五月二十七日、蓮門会初の日帰り研修旅行に行ってきました。蓮門会とは連研修了者で構成される会のこと。「たまには旅行でもしまいいけ！」の会長の一声で、初の研修旅行が決定。蓮門会は、いつまでも若々しくエネルギーシユな会なのです。

目的地は新潟県の上越市。「なぜ上越？」と思う方もおられるかもしれませんが、実は上越市は、浄土真宗の開祖親鸞聖人がご流罪になられた地。そして聖人の妻である恵信尼さまゆかりの地でもあります。聖人と京都に帰られた後、晩年再び上越に戻ってこられた恵信尼さまは、遠く京都で暮らす聖人をお世話していた末娘の覚信尼さまに宛て、何度もお手紙を書いておられました。そのお手紙から、恵信尼さまご自身のことはもちろん、聖人にまつわる様々なことが明らかになってきたのです。

今回の旅行のメインは、そのお手紙の主、恵信尼さま。恵信尼さ

まは、上越の海側から十キロほど内陸に入った板倉という地域に住んでおられたと考えられています。

訪れた板倉の地は、一面の田園風景でした。山も近く、まさに五位組の川西を思わせませす。また現在は北陸新幹線も建設中。田園に新幹線という風景は、五位組の川東にも似ています。そんなのどかで美しい土地に、恵信尼さまゆかりといわれる五輪の塔が、今も静かに建っていました。

遠く七五〇年もの昔、この板倉の地からはるか遠い京都におられた聖人をそして娘を、思い続けた恵信尼という方がおられたのです。当時は飢饉などで生活は苦しく、何より冬の厳しい越後です。年齢は八十歳半ば。迫り来る自らの死を見つめつつも、一日一日を精一杯生き抜かれた恵信尼さま。今回の旅行を通して、その恵信尼さまの生きる力の源となった浄土真宗のみ教えを、改めて味わってみたいと思いました。

自坊紹介

藤田山 善教寺 高岡市中保



とうでんざん

藤田山 善教寺の由来

善教寺の初代は、天文二年(一七三七年)藤田實誠であり、現在高岡市立野二九二四番地、永念寺の十世住職善頭の弟であります。

本家である、立野永念寺は、寺伝によりますと、

「真言宗足利義満末孫、当寺往昔、近江国滋賀郡大建山領に居り、創立者元暦二年(一一八五年)三月真言宗として、永教院と名付け、住職者永證と申す者となり。

建暦二年(一一二一年)九月越中の国砺波郡、福田郷へ転国し、十禅師之別当職、真言宗の永教院と申す霊場となり、而後文明九年(一四七七年)三月住職、了善永念寺第四世と及信徒と共に浄土真宗に帰依し改名して福禅山永念寺と名付けた。」とあります。

その後、天文九年(一五四〇年)九月信徒多く随喜のため、砺波郡小栗の郷、中保へ転地し、さらに寛保二年(一七四二年)信徒多く随喜のため、現在地、高岡市立野二九二四番地へ転地したのが、福禅山永念寺であります。

そして、永念寺の第十世善頭住職の弟實誠が中保永念寺の跡地を譲り受け、中保、藤田山善教寺の初代住職となりました。

報 恩 講 ご 案 内

各寺院の報恩講の日程順に
記載してあります。

どうぞお誘い合わせの上、お参りください。
詳細については、各寺院にお問い合わせください。

石堤 法善寺

九月二十八日 朝 九時三十分 昼 二時
九月二十九日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 福岡町舞谷 麻生 達乗 師
※二十九日は祠堂経法要

上向田 浄永寺

※修復完成慶讃法要、
蓮如上人五〇〇回遠忌法要
親鸞聖人七五〇回大遠忌法要
十月五日 昼 二時
十月六日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 射水市市井 公文名 眞 師

赤丸 性宗寺

十月十一日 昼 二時 夜 七時
十月十二日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 射水市市井 公文名 眞 師

四日市 浄明寺

十月十四日 昼 二時 夜 七時
十月十五日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 射水市市井 公文名 眞 師

辻 西福寺

十月十六日 昼 二時
十月十七日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 高岡市伏木 山名 一徳 師

立野 永念寺

※修復完成慶讃法要、
蓮如上人五〇〇回遠忌法要
親鸞聖人七五〇回大遠忌法要
十月十九日 昼 二時
十月二十日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 射水市朴木 青木 哲隆 師

三日市 光源寺

十月二十二日 昼 二時 夜 七時
十月二十三日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 高岡市佐加野 磯原 孝雄 師

本保 本正寺

十月二十六日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 高岡市内島 岡西 法英 師

佐加野 光明寺

十月二十七日 昼 二時 夜 七時
十月二十八日 朝 九時三十分
法話 高岡市内島 岡西 法英 師

内島 教願寺

十月三十日 昼 二時 夜 七時
十月三十一日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 高岡市佐加野 磯原 孝雄 師

石堤 長光寺

十一月一日 昼 二時
十一月二日 朝 九時三十分 昼 二時
夜 七時
十一月三日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 氷見市布施 圓山 清 師

中保 善教寺

十一月三日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 氷見市中田 清水 朗 師

笹川 廣濟寺

十一月五日 朝 九時三十分 昼 二時
夜 七時
十一月六日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 高岡市伏木 山名 一徳 師

麻生谷 西光寺

十一月七日 朝 九時三十分 昼 二時
夜 七時
十一月八日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 未定

山岸 珉照寺

十一月十六日 昼 二時 夜 七時
十一月十七日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 氷見市余川 宮本 美弥子 師

舞谷 永賢寺

十一月二十三日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 富山市婦中町 竹中 了祥 師

